

●妙高市総合計画審議会の評価・意見への対応状況一覧表（R1実績評価）

（令和3年3月調査）

管理番号	区分	施策番号	施策名	回答課	成果の評価	継続性評価	委員会意見	意見への対応状況	対応内容
1	総合計画	1	地域資源を活かした観光産業の振興	観光商工課	C:効果があつた	Ⅱ:改善（事業内容の見直し）	①新型コロナウイルス感染症による影響でライフスタイルや価値観等が大きく変わる中で、国内・近隣圏内向けやテレワークを活用した誘客戦略にシフトしていくこと。あわせて、情勢を見ながらインバウンドについても並行して戦略的に進めていくこと。	1. 対応済み	観光庁誘客多角化事業を活用し、テレワークを活用したワーケーションや健康増進・免疫力の向上に向けたクアオルトなどの旅行商品造成などの磨き上げを行いました。また、ICTを活用した健康観察システムの実証事業などにより、アフターコロナにおけるインバウンドの受け入れのあり方についても検討を進めています。
2	総合計画	1	地域資源を活かした観光産業の振興	観光商工課	C:効果があつた	Ⅱ:改善（事業内容の見直し）	②観光地域づくり法人と連携し、専門人材を活用したマーケティングの分析を一層進め、安全・安心な観光地としての差別化を図り、「魅力的で選ばれる妙高」を作り上げていくこと。また、情報発信については、拡散性が高く効果的な方法を検討し、実施していくこと。	1. 対応済み	選ばれる次世代型観光地形成に向けたシンポジウムの開催をはじめ、COCOA普及活動、独自安全基準の策定や査察の実施等により、受け入れ態勢を構築してきました。加えて、令和3年度からのマーケティング専門人材の登用により、魅力的な旅行商品造成、効果的な情報発信を行い、「選ばれる観光地妙高」を確立し、誘客につなげていきます。
3	総合計画	2	魅力ある農林業の振興	農林課	C:効果があつた	Ⅱ:改善（事業内容の見直し）	①担い手の確保と経営の安定化を図るため、農業者の経営感覚の磨き上げに対する支援を継続するとともに、スマート農業による農作業の効率化の支援を進めていくこと。また、水稲単作だけでなく、直売所を活用しながら園芸の振興を図っていくこと。	1. 対応済み	認定農業者に対し、各種研修会の情報提供を行ったほか、スマート農業の推進のため、農業用ドローンによる実演会を開催しました。園芸振興については、園芸チャレンジ教室の開催や県を交えた直売所との意見交換会を実施しました。今後も引き続き、妙高市農業振興協議会を通じ、スマート農業の推進、園芸の生産拡大を図っていきます。
4	総合計画	2	魅力ある農林業の振興	地域共生課	C:効果があつた	Ⅱ:改善（事業内容の見直し）	②耕作放棄地対策の一環として、農業を移住希望者へのアピールに活用していくこと。	1. 対応済み	空き家情報登録制度を活用し、空き家を購入する際、空き家に付随する農地取得の面積を1,000㎡以上から1㎡以上に引き下げたことにより、空き家と農地をセット購入することが可能となりました。これにより遊休農地の解消や農地の管理などが期待できることから、周知を徹底し、より一層の移住促進につなげていきます。
5	総合計画	2	魅力ある農林業の振興	農林課	C:効果があつた	Ⅱ:改善（事業内容の見直し）	③「四季彩館みょうこう」のオープンを契機に、農業振興施設を最大限に活用し、さらなる農家所得の向上と地域農産物の魅力発信を行っていくこと。また、加工用ブドウの生産者・生産量の確保に向け、他の農業生産法人まで活動範囲を広げていくこと。	1. 対応済み	市内直売所の連携強化、地域農産物の積極的な情報発信を図るため、各直売所店長による調整会議を実施しました。令和3年度も引き続き調整会議を実施しながら、直売所が連携した事業などの検討を進めていきます。加工用ブドウの栽培については、栽培エリアの拡大に向け、令和2年度から原通地区で試験的に栽培を開始しています。令和3年度では、ブドウ栽培を専門に行う「地域のこし協力隊」の募集を行います。
6	総合計画	2	魅力ある農林業の振興	農林課	C:効果があつた	Ⅱ:改善（事業内容の見直し）	④「森林経営管理制度」を活用し、関係機関との連携による資源の供給・流通・管理体制づくりを進め、森林整備を促進していくこと。あわせて、市産材を計画的に活用できる仕組みづくりを進めること。	1. 対応済み	地域での制度説明会を令和2年度から開始し、計画的に制度の運用を図り、森林所有者の意向を確認しながら森林整備を進めています。市産材の活用については、上記制度の運用に合わせ、関係機関等との連携を図りながら進めていきます。
7	総合計画	2	魅力ある農林業の振興	農林課	C:効果があつた	Ⅱ:改善（事業内容の見直し）	⑤新型コロナウイルス感染症の影響により、教育体験旅行の誘致を積極的に進めることが難しくなった中、アフターコロナでの再始動に向けた受入体制の充実や体験プログラム等の充実を図っていくこと。	1. 対応済み	新型コロナウイルス感染症の収束を見据え、妙高市における教育体験旅行の継続的な実施体制や、SDGsを活用した探究学習プログラムの構築に向け、総務省の「子供の農山漁村体験交流計画策定支援事業」に申請し、探究学習プログラム計画を策定しています。
8	総合計画	3	活力ある商工業等の振興	観光商工課	C:効果があつた	Ⅱ:改善（事業内容の見直し）	①4月より運用を始めた新制度（夢をかなえる企業応援補助金）の活用などにより、市内での起業・創業の増加と空き店舗の解消を図ること。	1. 対応済み	夢をかなえる企業応援補助金の賃借料補助金の活用により、初年度となった令和2年度は3件の空き店舗解消につながっています。引き続き、創業支援計画に基づく関係機関等との連携により、市内での起業・創業の促進を図っていきます。
9	総合計画	3	活力ある商工業等の振興	観光商工課	C:効果があつた	Ⅱ:改善（事業内容の見直し）	②新型コロナウイルス感染症の蔓延を契機としたテレワーク、ワーケーションの普及を追い風として、外部人材の活用不足の解消や市内での雇用・創業につなげていくことと、市内に定住しながら首都圏等企業で働くワークスタイルの促進を図ること。	1. 対応済み	【企画政策課事業】令和4年4月供用開始予定のテレワーク研修交流施設を拠点としたワーケーション推進のほか、サテライトオフィス等整備・運営や進出企業への支援により、関係人口の創出・拡大を図っていきます。【観光商工課事業】企業振興奨励条例に基づく奨励措置や夢をかなえる企業応援補助金の活用等による企業誘致に努めていきます。
10	総合計画	3	活力ある商工業等の振興	観光商工課	C:効果があつた	Ⅱ:改善（事業内容の見直し）	③職種や雇用条件などミスマッチが生じている要因を分析し、企業に働きかけるとともに、高校生を対象としていたジョブウォッチングを拡充し、求職者に地元企業を知ってもらう機会を増やし、地元雇用につなげていくこと。	5. 検討・検証中	求人と求職のミスマッチの要因について分析中であり、分析完了に併せて事業所へ周知を図る予定です。ジョブウォッチングの拡充については、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の関係で受入れ企業がなかったため、令和3年度の実施に向け関係団体と調整を行います。
11	総合計画	4	交流と暮らしを支える基盤づくり	企画政策課	B:十分効果があつた	Ⅱ:改善（事業内容の見直し）	①並行在来線の維持に向けて鉄道会社や県・沿線市との連携強化を図るとともに、中期経営計画の早期策定を働きかけていくこと。バスについては2路線のコミバスへの転換を予定しているが、少子高齢化が進行する中で、利便性が高く持続可能な運行形態に向けた検討を進めること。	1. 対応済み	鉄道について、中期経営計画の策定に向けて、えちごトキめき鉄道が主体となって、新潟県及び沿線市と協議を行っています。昨年より協議を行っているところですが、今般の新型コロナウイルスの影響による営業収支見直しなどを盛り込んだ計画となるよう進めています。
12	総合計画	4	交流と暮らしを支える基盤づくり	環境生活課	B:十分効果があつた	Ⅱ:改善（事業内容の見直し）	①並行在来線の維持に向けて鉄道会社や県・沿線市との連携強化を図るとともに、中期経営計画の早期策定を働きかけていくこと。バスについては2路線のコミバスへの転換を予定しているが、少子高齢化が進行する中で、利便性が高く持続可能な運行形態に向けた検討を進めること。	1. 対応済み	バスについて、地域の実情に応じた運行形態とするため、新井南部地域の市営バス2路線をNPO法人が運行を担うコミュニティバスへ転換しました（令和2年10月～）。また、令和4年に路線バスの再編が予定されていることから、代替交通手段の検討を進め、持続可能な運行形態の構築を目指します。
13	総合計画	4	交流と暮らしを支える基盤づくり	地域共生課	B:十分効果があつた	Ⅱ:改善（事業内容の見直し）	②新型コロナウイルス感染症の流行により、ライフスタイルや働き方に対する意識・価値観が大きく変容し、地方での生活の評価が高まる中、リモートによる空き家オンライン見学会など、ウィズコロナ時代に対応した移住定住施策を展開させていくこと。	1. 対応済み	コロナ禍により首都圏での移住相談会がオンライン開催となり、リアルでの出展は一度もありませんでしたが、移住を考えている方への対応として、移住応援動画のYouTube掲載やAIチャットボットの試験運用、オンライン空き家内覧など非接触での移住定住施策の展開を図りました。今後もホームページでの空き家情報登録制度・登録物件の紹介やオンライン内覧などを継続していきます。
14	総合計画	5	自然環境との共生	環境生活課	C:効果があつた	Ⅱ:改善（事業内容の見直し）	①環境会議のプロジェクトの取組を持続可能なものとするため、保全活動の中心的役割を担う団体を育成するとともに、将来を担う世代に対して妙高の自然環境の魅力や環境保全への理解を深め、意識の高揚を図るほか、国立公園の積極的なPRを実施していくこと。また、国立公園妙高の鳥に指定したライチョウの保護活動を推進していくこと。	1. 対応済み	環境サポーターズの募集活動をはじめ、環境会議のプロジェクトは計画通り実施しました（コロナ感染症や天候により、一部の活動は中止）。ライチョウの保護活動についても、当初計画通り実施しました。今後も入域料やクラウドファンディングなどを活用しながら、ライチョウをはじめとした希少野生種動植物の保護活動を推進していきます。

管理番号	区分	施策番号	施策名	回答課	成果の評価	継続性評価	委員会意見	意見への対応状況	対応内容
15	総合計画	5	自然環境との共生	環境生活課	C:効果があった	Ⅱ:改善(事業内容の見直し)	②入域料やクラウドファンディング等による財源確保の取組を進めるとともに、研究者や専門機関と連携のうえ、より効果的な自然資源の保全と活用を図ること。また、寄附者に用途を明確に伝えることで、継続的な支援につなげること。	1. 対応済み	クラウドファンディングについては、計画通り実施し、目標金額の寄付を達成することができました。寄付金の用途については、環境会議の入域料部会において検討し、適宜、HPや現地掲示板により周知しています。今後も継続して活動に取り組んでいきます。
16	総合計画	6	循環型社会の推進	環境生活課	C:効果があった	Ⅰ:事業拡大(追加・発展)	①生命地域妙高ゼロカーボン推進宣言における、2050年「CO2排出量実質ゼロ」の達成に向け、マイバックスの持参を推進するなど、市民一人ひとりの地球温暖化防止への意識を高める啓発活動の強化を図り、市民、事業所、行政が一体となった環境保全(美化)活動や資源循環の取組の主体的な推進を図っていくこと。	1. 対応済み	「レジ袋削減・マイバッグキャンペーン」を実施し、事業所の協力を得ながら50店舗にのぼりチラシを配布しました。7月1日には大型スーパー6店舗で、妙高市消費者協会と連携し直接チラシの配布を行うなど、啓発活動と資源循環の推進を図りました。今後も啓発活動を継続し、日常の中で身近にできる地球温暖化防止のための取組の推進を図っていきます。
17	総合計画	6	循環型社会の推進	環境生活課	C:効果があった	Ⅰ:事業拡大(追加・発展)	②食品ロスの削減に向けて、家庭や飲食店等それぞれの立場で取組が進められるよう、普及・啓発を行うとともに、民間事業者や市内福祉施設等と連携し、10月にフードドライブの試行を行うなど、食品循環の取組の推進を図ること。	1. 対応済み	食品ロス削減月間にあわせ市報による普及・啓発を行うとともに、10・11月に3カ所でフードドライブを実施したほか、1月と3月にはこども食堂と共催でフードドライブを行うことで、資源循環の推進を図りました。今後も食品ロス削減・もったいない運動の普及・啓発を進めながら、フードドライブの拡大を図っていきます。
18	総合計画	7	便利で快適な都市環境づくり	建設課	C:効果があった	Ⅲ:継続(現状維持)	①効率的で長期的に安定した除雪体制を維持していくため、市民や地域・除雪業者と連携を図り、安全・安心な冬期間の生活を確保していくこと。また、将来を見据えた持続可能な除雪体制の検討を進めるほか、克雪施設の維持を図っていくこと。	1. 対応済み	除雪では、支部長アンケートや業者ヒアリングなどを踏まえ、持続可能な除雪体制を維持していくことを目的に、道路除雪路線の格付見直しや地域の実情に応じた柔軟な除雪計画の策定を行い、冬期間の安全・安心な道路交通を確保しました。また、克雪施設では、適切な修繕や計画的な更新を行い、機能の維持と施設の長寿命化を図りました。今後も市民の日常生活の維持を最優先に、安全・安心な除雪の実施に努めていきます。
19	総合計画	7	便利で快適な都市環境づくり	ガス上下水道局	C:効果があった	Ⅲ:継続(現状維持)	②引き続き、老朽化するガス、水道、下水道の施設や経年管の計画的な更新を進めるほか、民間の有するノウハウの活用を進め、民営化も含めて持続可能な事業経営を図っていくこと。	1. 対応済み	施設等の更新については、優先度の高い箇所から順次更新を行っています(工団町、美守、白山町、雪森、二俣ほか)。民間活用については、令和元年度に「ガス上下水道事業あり方検討」を行い、ガス事業を譲渡しその譲渡先に上下水道事業を包括的に委託することとし、令和4年度からの実施を目指し、令和2年度は公募型プロポーザル方式による事業者選定を行い、優先交渉権者を決定しました。
20	総合計画	8	安心して子育てできる環境づくり	こども教育課	C:効果があった	Ⅲ:継続(現状維持)	①子育て情報の発信を強化し、子育てサービスの利用につなげ、子育てしやすい環境づくりの推進を図ること。	1. 対応済み	子ども家庭支援センターやスマートフォンアプリ「えむぶら」により、子育て関係の利用可能なサービスや、イベント、その他各種情報を発信することにより、子育てに対する不安の軽減、子育てしやすい環境づくりに向けて取り組んでいます。特に「えむぶら」については、令和2年度から月2回の定期情報発信日を設け、情報発信の強化に努めています。令和3年度はLINE公式アカウントの活用により切り替え、より利便性が高く、効果的に必要な情報を届けられる仕組みを構築します。
21	総合計画	8	安心して子育てできる環境づくり	こども教育課	C:効果があった	Ⅲ:継続(現状維持)	②高い評価が得られている保育サービスの提供を続けていくため、引き続き、職員の資質向上のための研修や人材確保に努めていくこと。	1. 対応済み	コロナ禍の影響により、予定していた研修の中止等がありましたが、担当歳児別の保育者研修やリモート研修、職場内研修等の代替え機会を確保し、資質の向上に努めました。また、経験者枠の正規採用の拡大や幅広い年代層の保育補助の採用など、多様な人材の確保に努めました。今後も引き続き、職員の資質向上や人材確保に力を入れていきます。
22	総合計画	8	安心して子育てできる環境づくり	こども教育課	C:効果があった	Ⅲ:継続(現状維持)	③虐待について、最悪の事態を防ぐための早期発見に努めるとともに、虐待が発生する要因を調査・分析し、適切に対応していくこと。引き続き関係機関と連携し、虐待に至る前の保護者支援の強化や要保護児童等への適切な支援、相談支援体制の強化を図ること。	1. 対応済み	子どもの安全と命を最優先に、引き続き関係機関との連携を密に行い情報の共有化に努めながら、早期発見と早期対応を図っています。児童虐待を行っている家庭のケースごとに個別支援検討会議を開催し、虐待に至る原因の解明と望ましい支援策を検討しながら、短期支援計画や中・長期支援計画を立てるとともに、役割分担を決めながら対応を図っています。また、未然防止の観点から、保健や医療と連携して子育てに不安を感じている保護者に寄り添った相談支援を行っています。
23	総合計画	9	豊かな人間性と生きる力を育む教育	こども教育課	C:効果があった	Ⅰ:事業拡大(追加・発展)	①いじめや保護者とのトラブルに適切に対応するため、スクールロイヤーの活用を進めること。また、不登校児童生徒の発生防止、早期発見と解消に向けた支援を継続すること。	1. 対応済み	妙高市スクールロイヤー活用事業は、県の事業を補完し、妙高市内の学校に即時的な支援を行うために実施しています。(1)法相談、(2)児童生徒へのいじめ予防教育、(3)教職員研修が事業内容ですが、児童生徒がいじめに対する正しい認識をもつことが急務であり、令和2年度と3年度で児童生徒へのいじめ予防教育講演会を優先的に実施します。令和2年度実施の6校では、児童生徒の講演後の振り返りシートからみて、子どものいじめに対する理解や認識の向上が見られ、教員からも大変好評でした。不登校児童生徒の支援について、早期発見解消のため、子育て支援係の相談員や市のスクールソーシャルワーカーが定期的に中学校の生徒指導部会に参加するなどして対応しています。
24	総合計画	9	豊かな人間性と生きる力を育む教育	こども教育課	C:効果があった	Ⅰ:事業拡大(追加・発展)	②新型コロナウイルス感染症の影響により、学校が臨時休校せざるを得ない状況となる中、在宅でもリモート授業ができる環境整備を図るため、全児童・生徒へのタブレット端末の整備を進めるとともに、プログラミング教育をはじめとしたICT活用授業の推進を図り、学習効果の向上につなげていくこと。	1. 対応済み	GIGAスクール構想の推進に向け、令和3年3月に全児童・生徒のタブレット端末の整備が完了し、4月から正式に運用を開始します。家庭へのタブレット端末の持ち帰りについては、令和3年度の活用状況や有害サイトフィルタリングソフト導入を視野に入れ検討します。プログラミング教育については、令和2年度小学校学習指導要領改訂に伴い、妙高プログラミングベーシックプランや各教科等においてプログラミング学習を実施しています。
25	総合計画	9	豊かな人間性と生きる力を育む教育	こども教育課	C:効果があった	Ⅰ:事業拡大(追加・発展)	③各学校のコミュニティ・スクールの活動の拡大や取組の共有により、地域で子育てする意識の全体的な浸透を図っていくこと。	1. 対応済み	各コミュニティ・スクールの取組、現状や課題の情報共有を行うため、情報交換会や研修会を開催しました。引き続き、活動の充実やより多くの地域住民や保護者の参画につなげ、全市民に子どもたちの育ちを地域ぐるみで見守り、支援していく体制を整えていきます。
26	総合計画	10	安心して学べる環境整備	こども教育課	B:十分効果があった	Ⅲ:継続(現状維持)	①普通教室に引き続き、特別教室へのエアコン設置も計画通りに整備を進めること。	1. 対応済み	特別教室へのエアコン設置については、令和3年度に設置予定でしたが、国の令和2年度第1次補正において、エアコン設置工事に対する予算が計上され、本市に対して国庫補助金の採択があったことから、計画を前倒しして設置工事を実施し、令和2年度中に設置を完了しました。

管理番号	区分	施策番号	施策名	回答課	成果の評価	継続性評価	委員会意見	意見への対応状況	対応内容
27	総合計画	10	安心して学べる環境整備	こども教育課	B:十分効果があった	Ⅲ:継続(現状維持)	②児童・生徒数の推移を視野に入れ、必要性を見極めながら、計画的に施設の改修を行うとともに、新型コロナウイルス感染症の感染リスクを抑えるための備品購入やリモート授業を見据えた環境整備を進めていくこと。	1. 対応済み	学校施設長寿命化計画に基づき計画的に施設の改修を実施していきます。なお、令和3年度の大規模改修工事は、新井中学校校舎給水管等改修工事を予定しています。 感染症対策については、国の補助事業を活用し、手洗い場の蛇口交換(手回し式をレバー式、自動式に交換)や、消毒液、非接触型体温計等の消耗品・備品の整備を行っています。また、小中総合支援学校のGIGAスクール構想に基づき、児童、生徒及び教職員1人ずつに対しタブレット端末を配付し、デジタル機器を活用した授業に対応できるよう環境整備を行っています。これを受けてICT教育への理解と能力向上を図るため学校職員を対象とした研修会を開催しており、今後学校間でのリモート授業が可能となるように環境整備を進めていきます。
28	総合計画	11	保健と医療の充実	健康保険課	D:あまり効果がなかった	Ⅱ:改善(事業内容の見直し)	①新型コロナウイルス感染症によるライフスタイルの変化にあわせ、自宅でできる運動を紹介するなど、気軽に取り組みやすい仕組みを検討するとともに、モデル地域でのウォーキングをきっかけに、全市的な取組への拡大を図っていくこと。	1. 対応済み	令和2年度は、市報で「ウォーキングや運動習慣」の記事を2回掲載したほか、健診会場や企業訪問で啓発用チラシの配布を行いました。また、9月6日には上越教育大学大学院 池川准教授を招き、市民向けウォーキング講習会を実施したほか、健康づくりリーダーを中心に「モデル地区、チャレンジ地区」を設定し、10地区においてウォーキング活動を実施しました。 令和3年度も引き続き、健康づくりリーダーを中心となって地域で行うウォーキングの推進のための活動を支援していきます。
29	総合計画	11	保健と医療の充実	健康保険課	D:あまり効果がなかった	Ⅱ:改善(事業内容の見直し)	②健診会場の見直しや働き盛りの世代にニーズが高い予約健(検)診の拡充等により、健(検)診しやすい環境づくりと受診率向上を図り、生活習慣病の疾病予防と重症化予防を図ること。	1. 対応済み	令和2年度、予約健診の日数を1日増やしたほか、令和3年度はすべての予約健診においてレディース検診(子宮頸がん、乳がん、骨粗しょう症検診)をセットで実施できるよう拡充する予定です。 健診会場については、今年度より新井地区を中心に送迎バスの拡充を図りつつ、会場を集約し実施しているところであり、今後の受診率の動向について効果を検証していきます。
30	総合計画	11	保健と医療の充実	健康保険課	D:あまり効果がなかった	Ⅱ:改善(事業内容の見直し)	③各種要望活動をはじめ、医師養成奨学金貸付や診療所開設補助など、新たな制度の活用促進により、引き続き上越圏域全体で連携して医療提供体制の維持に努めていくこと。	1. 対応済み	医師養成修学資金については、7月に新潟大学、富山大学の医学部学務課等へ制度案内を依頼しました。また、上越地域の各普通科高校を訪問しチラシを配布したほか、令和3年度募集要項を作成し、関係学校や事前の制度問合せへ送付しました。 診療所開設支援補助金については、医師会に情報提供の協力を依頼したほか、高田高校OB会を通じて医師へチラシを送付し、制度周知を図りました。
31	総合計画	11	保健と医療の充実	健康保険課	D:あまり効果がなかった	Ⅱ:改善(事業内容の見直し)	④地域医療の再編が問題となる中、地域の実情に応じた医療提供体制の維持、継続について強く訴えていくこと。	1. 対応済み	県立妙高病院の存続について、地域と一緒に県へ要望活動を実施しました。また、厚生連けいなん総合病院の維持存続のため各種補助金支援するとともに、地域医療連携推進協議会を通じて県や国に対し要望活動を実施しました。
32	総合計画	12	高齢者・障がい者福祉の充実	福祉介護課	C:効果があった	Ⅱ:改善(事業内容の見直し)	①一人ひとりの主体的な介護予防、認知症予防の取組を促すとともに、地域で住民や事業者等が支えていく仕組みづくりを進めていくこと。	1. 対応済み	令和2年度はコロナの影響により、教室や地域主体の取組が開催できず、フレイル予防で重要なつながりづくりを推進することが困難でしたが、妙高地域においては、助け合いの地域づくりの住民勉強会を実施することで、地域が主体となり介護予防や生活支援について考える機会を作ることができ、仕組みづくりの第一歩となっています。
33	総合計画	12	高齢者・障がい者福祉の充実	福祉介護課	C:効果があった	Ⅱ:改善(事業内容の見直し)	②親戚き後でも障がい者が地域の一員として安心して自分らしい生活を送ることができるよう、就労支援の強化を図るとともに、緊急時の相談や受入を充実させ、関係機関と連携した包括的な支援体制を構築すること。	1. 対応済み	障がい者の工賃アップを図るため、加工用ドウ栽培作業のマッチングなど農福連携を中心とした障がい者福祉施設ワーキングネットワークの受注拡大を支援しました。また緊急時の相談や受入れにおける対応の流れ等について、関係事業所等と協議・検討し、ルール作りを行い、支援体制の整備を進めています。
34	総合計画	13	支え合いの地域社会づくり	福祉介護課	C:効果があった	Ⅱ:改善(事業内容の見直し)	①市内全地域での見守りネットワークの維持とあわせ、妙高地域をモデル地域として実証する生活支援体制整備事業により、地域主体で生活課題の解決につなげる仕組みづくりを進めること。また、モデル地域での実証事業が全市的な取組となるよう拡大を図っていくこと。	1. 対応済み	助け合いの地域づくりを推進するため、令和2年度は、妙高地域において住民勉強会を3回開催するとともに、協議体設立準備会を開催し、共助のしくみづくりや生活支援体制整備について協議を進めてきました。令和3年度6月頃にNPO法人ふるさとづくり妙高へ生活支援コーディネーター業務の委託ができるよう、準備を行っています。
35	総合計画	13	支え合いの地域社会づくり	福祉介護課	C:効果があった	Ⅱ:改善(事業内容の見直し)	②引き続き生活困窮者の個々の事情に応じた支援を行いながら、自立につなげていくこと。	1. 対応済み	仕事、生活上の困りごとなど幅広く相談の中で受けとめ、その背景にある根源的な課題をとらえながら、個々の状況に応じた支援を行っています。
36	総合計画	14	安全・安心な暮らしの確保	総務課	C:効果があった	Ⅱ:改善(事業内容の見直し)	①地域の実情を踏まえながら消防団の統廃合等の見直しを進め、防災組織の機能維持を図っていくこと。	1. 対応済み	少子高齢化、勤務形態や個人の意識の変化などにより、消防団員数が減少していることを受け、統廃合も視野に入れた組織の見直しを実施しています。引き続き、消防団幹部と連携のうえ、団員や地域の意見を確認しながら、消火・防災機能が維持される体制づくりを進めます。
37	総合計画	14	安全・安心な暮らしの確保	総務課	C:効果があった	Ⅱ:改善(事業内容の見直し)	②想定外の自然災害に対応できるよう、各種マニュアル等の適宜見直し、地域における実践的な防災訓練の実施などにより、自主防災組織が主体となって災害時の避難対応や避難所運営ができる体制の強化を図るとともに、避難対応における新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に向けた対策を検討していくこと。	1. 対応済み	令和元年に発生した台風第19号の反省を踏まえ、災害時に自主防災組織が主体的に活動できるよう、自主防災組織と協議のうえ、地域ごとの避難マニュアルの作成を進めるとともに、防災訓練の実施を働きかけたところです。また、避難所における、新型コロナウイルス感染症対策の徹底・強化を図るため、全ての避難所にマスク、消毒液や非接触型体温計など感染症対策用品を配置しました。
38	総合計画	14	安全・安心な暮らしの確保	環境生活課	C:効果があった	Ⅱ:改善(事業内容の見直し)	③引き続き、交通事故防止に向けた交通安全意識の高揚を図っていくこと。	1. 対応済み	令和2年4月より、毎月10日の「交通安全家庭の日」にあわせ、防災行政無線による広報を実施しており、さらなる交通安全意識の高揚を図りました。 今後も継続的に啓発活動を行い、交通安全意識の高揚を図っていきます。
39	総合計画	15	生涯学習・スポーツの充実	生涯学習課	C:効果があった	Ⅱ:改善(事業内容の見直し)	①「市民の心」推進活動の定着化を図りながら、それぞれが持つ知識や技術、経験を地域や学校・子育ての場などで継承していく「学びの循環」につながる仕組みづくりを進め、地域の活力につなげていくこと。	1. 対応済み	市民や団体等が、一年を通して積極的に「市民の心」推進運動に取り組みるように、2カ月毎に取り組みの重点項目を設定し、具体的な実践事例や運動の周知を強化しながら、一層の活動定着を図っています。 令和3年度から新たに地区担当職員が地域共生課に配置されることから、地域とより密に連携しながら、地域活動人材制度の活動が拡大するように調整していきます。

管理番号	区分	施策番号	施策名	回答課	成果の評価	継続性評価	委員会意見	意見への対応状況	対応内容
40	総合計画	15	生涯学習・スポーツの充実	生涯学習課	C:効果があつた	Ⅱ:改善(事業内容の見直し)	②スポーツ施設における新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に向けた対策を徹底し、安全で快適なスポーツ環境の整備を図ること。また、競技スポーツの振興に向けては、ジュニア層の育成と指導体制の強化に引き続き取り組むとともに、スポーツ振興のための財源確保等、支援の方法を検討していくこと。	1. 対応済み	新型コロナウイルス感染防止対策については、施設の衛生管理をはじめ、職員や利用者の基本的な感染予防対策の徹底を図っています。ジュニア層を中心とした競技スポーツの振興に向けて、指導者を対象とした研修会の開催や、指導体制の強化及び選手の育成に向けた補助制度への転換等を行い、継続して支援していきます。
41	総合計画	16	創造性豊かな文化のまちづくり	生涯学習課	D:あまり効果がなかった	Ⅱ:改善(事業内容の見直し)	①妙高芸術祭の内容を充実させるとともに、東京藝術大学との連携事業の在り方を見直し、出品者や入場者の増加を目指すとともに、芸術文化活動への関心を高め、市民主体の芸術文化活動の活性化を図ること。	1. 対応済み	四季彩芸術展の会期を紅葉の観光シーズンに移動するなどの工夫により、芸術祭全体で、前年以上の出品数・入場者となりました。東京藝術大学教授等による作品制作指導会の開催を計画していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止しました。令和3年度も収束の見通しが不確実であることから、開催を見合わせるものとします。
42	総合計画	16	創造性豊かな文化のまちづくり	生涯学習課	D:あまり効果がなかった	Ⅱ:改善(事業内容の見直し)	②芸術文化事業、歴史学習について、参加者のニーズに合った短期型や子どもや親子を対象としたカリキュラムの充実により、参加者の裾野を拡大するとともに、活動の活性化を図ること。	1. 対応済み	歴史学習では、小学校を対象に発掘出土品等の歴史史料の貸出しや出前講座を開催し、地域の魅力の意識啓発に努めました。芸術文化事業では、妙高夏の芸術学校で親子対象の芸術ワークショップの開催を計画していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止しました。令和3年度も収束の見通しが不確実であることから、開催を見合わせるものとします。
43	総合計画	16	創造性豊かな文化のまちづくり	生涯学習課	D:あまり効果がなかった	Ⅱ:改善(事業内容の見直し)	③文化財等を未来に引き継ぐための保護の継続に加え、妙高の特徴的な歴史文化資源の磨き上げと顕在化を進めるとともに、様々な地域資源との結びつけながら魅力発信を行い、ツーリズムの振興を図ること。	1. 対応済み	「旧関山宝蔵院庭園」の修復整備が完了し、往時の庭園の姿が蘇り、新たな地域振興拠点が生じたほか、関川地区と関山地区の「歴史文化保存活用計画」が策定され、保護と活用の体制が整いました。また、歴史文化団体による「妙高歴史文化おもてなし会」が設立され、観光事業者等と連携したツーリズム事業が展開される体制整備が進められています。
44	総合計画	17	市民協働のまちづくり	地域共生課	C:効果があつた	Ⅰ:事業拡大(追加・発展)	①人口減少・過疎化が進行する中、地域力の低下に対応していくため、令和2年度より「地域共生課」を設置し、地域と共に協力しながら、地域課題の解決につながる活動を展開していくこと。あわせて、地域運営組織の設立・運営をサポートし、市との連携のもとで地域の主体的な課題解決へつなげていくこと。	1. 対応済み	コロナ禍で地域活動が自粛されている中、地域の課題や住民の想いを把握し、今後の地域づくりに役立てていくために、中学生以上の住民による「全住民アンケート」を推奨しながら、地域と話し合いを実施し、令和2年度は、矢代、姫川原、関山の3地区で全住民アンケートを実施しました。今後はアンケートで分かった地域課題をどうやって解決していくか、引き続き、地域の話し合い活動を支援していきます。また、この取り組みを広く周知しながら、地域の将来について考え、動き出す地域の拡大を図ります。
45	総合計画	17	市民協働のまちづくり	総務課	C:効果があつた	Ⅰ:事業拡大(追加・発展)	②情報発信が一方通行にならないよう、必要な情報がダイレクトに取得できるホームページを設計するなど、市民目線に立った情報発信に努めること。	1. 対応済み	ホームページは令和2年1月よりリニューアルし、トップページの画面を変更することをはじめ、市民が探している情報を見つけやすくなるよう利便性の向上を図りました。広報紙では令和2年度より市民から7名の広報協力員を選定し、市民目線に立った市報とするべく、協力員の意見を参考に内容やレイアウトの変更を実施しました。今後も継続的に見直しを進めていきます。
46	総合計画	17	市民協働のまちづくり	市民税務課	C:効果があつた	Ⅰ:事業拡大(追加・発展)	③デジタル化が進む中でインターネット上の誹謗中傷などの人権問題が社会問題となっていることから、当市での実態の把握に努めるとともに、市民に対する人権教育、啓発のための施策を一層推進すること。	1. 対応済み	インターネット上での誹謗中傷、部落問題などの人権問題を早期発見・対応するため、モニタリングを月2回実施し、未然防止に努めています。引き続き、市民が人権について正しい知識を持ち、日常生活の中での適切な態度・行動等につながるよう関係機関と連携し、よりわかりやすく効果的な啓発活動に取り組んでいきます。
47	総合計画	18	効率的な行政経営の確立	総務課	C:効果があつた	Ⅱ:改善(事業内容の見直し)	①今後の人口減少社会を見据え、第8次行政改革に基づき、今まで以上に効率的な行政サービスの提供を進めていくこと。	1. 対応済み	第8次行政改革実施計画に基づき、「スマート自治体の実現」を目標に、RPAの導入やスマート窓口システムの導入など、事業の見直しを行う中で、ICTを活用した取組を進めるとともに、ガス下水道事業の事業譲渡と包括委託の手続きを進めるなど、効率的な行政サービスにつながる各種取組を進めています。
48	総合計画	18	効率的な行政経営の確立	市民税務課	C:効果があつた	Ⅱ:改善(事業内容の見直し)	②引き続き早期の滞納解消と滞納整理の強化を図るとともに、新型コロナウイルス感染症の影響による歳入減に対応するため、事業の抜本的な見直しを進め、歳入に見合った事業のスリム化・効率化を図っていくこと。	1. 対応済み	滞納解消と滞納整理の強化について、「新たな滞納を発生させない」という観点から、現年課税分の収納強化や長期・高額案件に対し、差押えなどの処分の徹底や納付相談、金融機関との折衝を通じた計画的な削減に取り組んでいます。
49	総合計画	18	効率的な行政経営の確立	企画政策課	C:効果があつた	Ⅱ:改善(事業内容の見直し)	②引き続き早期の滞納解消と滞納整理の強化を図るとともに、新型コロナウイルス感染症の影響による歳入減に対応するため、事業の抜本的な見直しを進め、歳入に見合った事業のスリム化・効率化を図っていくこと。	1. 対応済み	事業の抜本的な見直しについて、事務事業の総点検を実施し、事業の統廃合等によるスリム化を図ったほか、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、イベント等の開催を見送るなど、事業の縮小を図りました。また、従来は対面で行っていたものをオンライン化するなど(空き家見学会ほか)、オンラインを活用した取組を進めることにより、事業の効率化を図りました。
50	総合戦略	1	妙高市における安定した雇用を創出します	観光商工課	C:効果があつた	Ⅱ:改善(事業内容の見直し)	①4月より運用を始めた新制度(夢をかなえる企業応援補助金)の活用などにより、市内での起業・創業の増加と空き店舗の解消を図ること。	1. 対応済み	夢をかなえる企業応援補助金の賃借料補助金の活用により、初年度となった令和2年度は3件の空き店舗解消につながっています。引き続き、創業支援計画に基づく関係機関等との連携により、市内の起業・創業の促進を図っていきます。
51	総合戦略	1	妙高市における安定した雇用を創出します	観光商工課	D:あまり効果がなかった	Ⅰ:事業拡大(追加・発展)	②新型コロナウイルス感染症の蔓延を契機としたテレワーク、ワーケーションの普及を追い風として、外部人材の活用人手不足の解消や市内での雇用・創業につなげていくとともに、市内に定住しながら首都圏等企業で働くワークスタイルの促進を図ること。	1. 対応済み	【企画政策課事業】令和4年4月供用開始予定のテレワーク研修交流施設を拠点としたワーケーション推進のほか、サテライトオフィス等整備・運営等や進出企業への支援により、関係人口の創出・拡大を図っていきます。【観光商工課事業】企業振興奨励条例に基づく奨励措置や夢をかなえる企業応援補助金の活用等による企業誘致に努めていきます。
52	総合戦略	1	妙高市における安定した雇用を創出します	観光商工課	B:十分効果があつた	Ⅱ:改善(事業内容の見直し)	③職種や雇用条件などミスマッチが生じている要因を分析し、企業に働きかけるとともに、高校生を対象としたジョブウォッチングを拡充し、求職者に地元企業を知ってもらう機会を増やし、地元雇用につなげていくこと。	5. 検討・検証中	求人と求職のミスマッチの要因について分析中であり、分析完了に併せて事業所へ周知を図る予定です。ジョブウォッチングの拡充については、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の関係で受入れ企業がなかったため、令和3年度の実施に向け関係団体と調整を行います。
53	総合戦略	2	妙高市への新しい人の流れをつくり出します	地域共生課	B:十分効果があつた	Ⅱ:改善(事業内容の見直し)	①新型コロナウイルス感染症の流行により、ライフスタイルや働き方に対する意識・価値観が大きく変容し、地方での生活の評価が高まる中、リモートによる空き家オンライン見学会など、ウィズコロナ時代に対応しながら、移住定住施策の効果を高めていくこと。また、観光誘客では、国内・近隣圏内向けテレワークを活用した誘客戦略にシフトしながら、情勢を注視してインバウンドの誘客戦略も並行して進めていくこと。	1. 対応済み	移住定住施策について、コロナ禍により首都圏での移住相談会がオンライン開催となり、リアルでの出展は一度もありませんでしたが、移住を考えている方への対応として、移住応援動画のYouTube掲載やAIチャットボットの試験運用、オンライン空き家内覧など非接触での移住定住施策の展開を図りました。今後もホームページでの空き家情報登録制度・登録物件の紹介やオンライン内覧などを継続していきます。

管理番号	区分	施策番号	施策名	回答課	成果の評価	継続性評価	委員会意見	意見への対応状況	対応内容
54	総合戦略	2	妙高市への新しい人の流れをつくります	観光商工課	B:十分効果があった	II:改善(事業内容の見直し)	①新型コロナウイルス感染症の流行により、ライフスタイルや働き方に対する意識・価値観が大きく変容し、地方での生活の評価が高まる中、リモートによる空き家オンライン見学会など、ウィズコロナ時代に対応しながら、移住定住施策の効果を高めていくこと。また、観光誘客では、国内・近隣圏向けやテレワークを活用した誘客戦略にシフトしながら、情勢を注視してインバウンドの誘客戦略も並行して進めていくこと。	1.対応済み	観光誘客について、観光庁誘客多角化事業を活用し、国の基準より厳しい独自ガイドラインの設定や査察、合格認定などを行い地域内の感染症対策の強化を図りました。また、新たな取り組みとして、テレワークを活用したワーケーションや健康増進・免疫力の向上に向けたクアオルトなどの旅行商品造成などの磨き上げを行いました。このほか、ICTを活用した健康観察システムの実証事業などにより、アフターコロナにおけるインバウンドの受け入れのあり方についても検討を進めています。
55	総合戦略	2	妙高市への新しい人の流れをつくります	観光商工課	B:十分効果があった	II:改善(事業内容の見直し)	②観光地域づくり法人と連携し、専門人材を活用したマーケティングの分析を一層進め、安全・安心な観光地としての差別化を図り、「魅力的で選ばれる妙高」を作り上げていくこと。	1.対応済み	選ばれる次世代型観光地形成に向けたシンポジウムの開催をはじめ、COCOA普及活動、独自安全基準の策定や査察の実施等により、受け入れ態勢を構築してきました。加えて、令和3年度からのマーケティング専門人材の登用により、魅力的な旅行商品造成、効果的な情報発信を行い、「選ばれる観光地妙高」を確立し、誘客につなげていきます。
56	総合戦略	3	若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえます	地域共生課	D:あまり効果がなかった	I:事業拡大(追加・発展)	①出会いの機会の創出のほか、マッチング後のフォロー、サポート体制の充実を図り、結婚意識の醸成を図ること。また、結婚後に妙高市へ移住・定住してもらうことを目指し、近隣自治体より手厚い子育て負担の軽減策や子育て世帯への経済的支援の充実などの支援を検討していくこと。	1.対応済み	コロナ禍で思うようにイベントや少人数パーティーができない状況の中、マッチング通信の発行などにより、独身男女のマッチングの創出に努めました。また、イベントやマッチング後のフォローを図っているものの、おつき合ひまでに発展しないことが多いのが現状ですが、これまでのイベントやマッチング通信などの活動がきっかけで、令和2年度は3組の成婚に繋がっています。令和3年度では、引き続き相談・情報発信を充実させるとともに、テーマ型イベントの開催など、独身者のニーズに合った多彩な出会いの機会の提供など、結婚に向けた活動をサポートしていきます。
57	総合戦略	3	若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえます	健康保険課	D:あまり効果がなかった	I:事業拡大(追加・発展)	②出産時に係るタクシー費用の助成制度や第3子以降の出産費用の助成制度などにより、出産への経済的負担を軽減するとともに、診療所開設の補助や産科医師確保の要望活動などにより、出産できる環境の確保に努めていくこと。また、テレワーク・ワーケーションの推進により、子育て世代も働きやすい環境を創出するなど、子育てしやすいまちづくりを進めていくことに加え、子育てしやすいということを積極的に周知し、市内外からの認知の向上を図ること。	1.対応済み	出産サポートについて、令和2年度より出産時に係るタクシー費用や第3子以降の出産費用の助成事業を開始し、タクシーについては3件、出産費用については21件の助成を行いました。また、診療所開設支援補助金は、医師会に情報提供の協力を依頼を行うとともに、高田高校OB会を通じて、医師へチラシを送付し制度周知を図っています。
58	総合戦略	3	若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえます	企画政策課	D:あまり効果がなかった	I:事業拡大(追加・発展)	②出産時に係るタクシー費用の助成制度や第3子以降の出産費用の助成制度などにより、出産への経済的負担を軽減するとともに、診療所開設の補助や産科医師確保の要望活動などにより、出産できる環境の確保に努めていくこと。また、テレワーク・ワーケーションの推進により、子育て世代も働きやすい環境を創出するなど、子育てしやすいまちづくりを進めていくことに加え、子育てしやすいということを積極的に周知し、市内外からの認知の向上を図ること。	1.対応済み	ワーケーションについて、コロナ禍により、主に首都圏企業のテレワーク化が進んだことは、地方の子育て世代が、可能な範囲内で、スキルを活かした働き方がしやすくなるなど、追い風となっています。その流れをとり、テレワークを活用した企業とスキルを持つ子育て世代とのマッチングにより、多様な働き方ができるよう、体制構築やセミナー等を実施していきます。
59	総合戦略	4	時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携します	地域共生課	D:あまり効果がなかった	I:事業拡大(追加・発展)	①地域運営組織の設立・運営をサポートし、市との連携のもとで地域の主体的な課題解決へつなげていくこと。	1.対応済み	地域運営組織である「NPOいきいき長沢」が指定管理を受けている「長沢茶屋」の運営を継続させていくために、令和2年4月から長沢茶屋に地域のこし協力隊を配置し、支援を行うとともに、「NPOみずほっと」に対しては、地域の交通課題を解決するために、地域と連携しながら10月からコミュニティバスの運行に向けた支援を行いました。新たな地域運営組織づくりについては、現在、燕温泉区で地域の活性化のための組織の見直しや矢代地区で地域の将来ビジョンを作成しており、支援を行いながら地域運営組織の設立につなげていきます。
60	総合戦略	4	時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携します	地域共生課	D:あまり効果がなかった	I:事業拡大(追加・発展)	②お試し協力隊制度により、協力隊希望者に事前にどんな地域か知ってもらうなど、地域と協力隊のミスマッチを防止し、定住につなげること。	1.対応済み	令和2年11月に矢代地区に配置した協力隊について、6月にお試し協力隊を実施し、事前に地域を知ってもらうことで、配置後の地域との関係づくりがスムーズに行っています。今後は協力隊、地域・行政の連携を深めながら、定住につなげていきます。
61	総合戦略	4	時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携します	福祉介護課	D:あまり効果がなかった	I:事業拡大(追加・発展)	③共助活動の取り組みを広めるため、先進的な地域と連携し、モデル地域としての体制を構築させ、市内全域に周知しながら相乗効果を狙っていくこと。	1.対応済み	助け合いの地域づくりを推進するため、令和2年度は妙高地域において住民勉強会を3回開催するとともに、協議体設立準備会を開催し、共助のしくみづくりや生活支援体制整備について協議を進めてきました。令和3年度6月頃にNPO法人ふるさとづくり妙高へ生活支援コーディネーター業務の委託ができるよう、準備を行っています。